




JLC 第47回ジョーク・コンテスト







2019年7月20日 日本近代文学館

MC: 棚橋 征一



写真撮影：小澤正樹

	出題ジョークと語数	出題者と得点
1	<p>“Can you think of any car manufacturer by the phrase ‘You are a bus’ ?” “Let’s see...ISUZU?...HINO?” “The answer is SUBARU.” (22 words)</p> <div style="text-align: right;">  </div>	<p>岡本真弘人 0+1=1</p>
2	<div style="display: flex; align-items: center;">  <div> <p>A man inserted an ad in the paper —WIFE WANTED. The next day he received a hundred letters and they all said the same thing —YOU CAN HAVE MINE. (29 words)</p> </div> </div>	<p>相原 悦夫 7+3=10</p> <p style="background-color: red; color: white; padding: 2px; display: inline-block;">第三位</p>
3	<div style="display: flex; align-items: center;">  <div> <p>The cocks may crow, but it’s the hen that lays the egg. —Baroness Thatcher (13 words)</p> </div> </div>	<p>佐川 光徳 0+0=0</p>

4	<p>Republican: Mr. Trump makes America great in the world.</p> <p>Democrat: No, he makes America grate on the world. (18 words)</p>		<p>安藤 雅彦 3+2=5</p>
5	<p>Q: Why do blondes always smile during lightning storms?</p> <p>A: They think their picture is being taken. (17 words)</p>		<p>岡田 茂富 0+0=0</p>
6		<p>Did you hear about the Irishman who immigrated from Ireland to Australia and raised the IQ level in both countries? (20 words)</p>	<p>山内 治友 2+2=4</p>
7	<p>A: What's the difference between a duck and George Washington?</p> <p>B: One has a bill on their face and the other has his face on a bill. (27 words)</p>		<p>棚橋 征一 7+3=10 第三位</p>
8	<p>What did Vincent say when he lost his car in the parking lot?</p> <p>Where did my van gogh? (18 words)</p>		<p>村井久美子 3+4=7</p>
9		<p>Wife to Genie: Make my husband pay more attention to me, take me out, sleep close to me, watch me first thing in the morning. POOF! She turned a smartphone! (30 words)</p>	<p>小澤 正樹 0+1=1</p>

<p>10</p>	<p>Flight attendant: "I am sorry, Mr. Jones but we left your wife behind in Chicago." Man: "Thank goodness! I thought I was going deaf!" (24 words)</p>		<p>中嶋 秀隆 6+7=13 第一位</p>
<p>11</p>	<p>Mrs. Jones cremated her lazy husband to ashes, and made a sand-glass clock. Now, she can look her husband work very hard every day. (24 words)</p>		<p>小池 温 3+7=10 第三位 大波賞</p>
<p>12</p>	<p>Q: How do you know your wife is a good housekeeper? A: After the divorce she keeps the house. (19 words)</p>		<p>長谷川真弓 3+1=4</p>
<p>13</p>	<p>Secretary A: Look! That new young manager is really good looking. I think he is the best dresser in this office. Secretary B: Yes, he is. And he is the fast dresser, too. (30 words)</p>		<p>服部 陽一 4+8=12 第二位 大波賞</p>
<p>14</p>	<p>Mom: Go clean your room! Me: But it's MY room. Mom: And this is MY house. Me: Then you go clean it! (22 words)</p>		<p>今井真由美 4+3=7</p>
<p>15</p>	<p>Dear sir: Your library card will be cancelled unless you bring back the librarian you took out two months ago. (20 words)</p>		<p>豊田 一男 2+4=6</p>

MC の記

棚橋 征一

昨年の2月以来、久しぶりにJCのMCを務めさせて頂きました。今回もバラエティに富んだ内容の計15の出品が集まりました。当日は新入会員として、かつて長谷川会員が高校で英語教師をされていた時期の教え子のひとりで、その後、恩師と同じようなキャリアを歩まれた大野さんの紹介があり、盛り上がりました。また、佐川会員のご高配により、会場の日本近代文学館を含む目黒区駒場界隈の今昔をイラスト入りで説明した新聞記事が配付されました。

初めに上位入賞した出品5点を紹介いたします。:

1位は10番(出品者:中嶋さん、当日欠席)でした。フライト・アテンダントから「申し訳ありません、奥様をシカゴに置き忘れてしまいました」と告げられたジョーンズ氏いわく「何てこった!あまり静かなので、てっきり自分が難聴になったと思ってたよ」。普段 **chat-ter box** のようにしゃべりづめの奥さんにつきまとわれている身には、しばしの休息になった(?)のかも。なお、ジョーンズ氏が目視で夫人の不在に気づけなかった様子から、視覚障害がある人ではないかとの意見も出ました。2位は13番(服部さん)で、イケメンの新入若手マネジャーを巡る秘書嬢2人の会話を扱



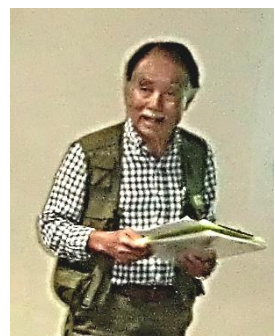
ったもの。ひとりが「今度来た彼、イケメンで、職場一の **best dresser** よね」と言ったところ、もうひとりがすかさず、「それに **fast dresser** でもあるのよ」と返した。この **fast dresser** の解釈について種々意見交換があった最後に、出品者の服部さんから「着衣も速い」ということは、つまりこれと言った秘書嬢は既にそのマネジャーと男女の関係をもったからそう言えた訳、との説明があり一同納得。



3位には同点で、2番(相原さん)、7番(棚橋)および11番(小池さん)が並びました。

2番はいかにも男女間の機微に通じた相原さんらしい出品で、洋の東西を問わず **standing ovation** を得られる内容と感じました。

7番は例によってネットから探したものですが、**bill** が笑点のキーワードで、「お札」に加えて「嘴」も意味することを巧く活かしたジョーク。





11 番は、死後、奥さんからリベンジを受けたダンナの話で、写真に出ている奥さんの怖い目つきが印象的。家では

永年「何もしない殿下」で通している小生としては、大いに危機感を煽られました。なお、この 11 番は 2 回目の得点がグリーンと伸びて「大波賞」もゲットしました。

以下、順番に「笑点」の説明と小生の印象を略記させていただきます：

1 番（岡本さん）：SUBARU を逆読みしたらどうなるか、から発想されたユニークなジョークでした。

3 番（佐川さん）：世の中は女性の地道な reproduction 能力で回っているのだ、という主旨の、男尊女卑を戒めたようなジョークと感じました。

4 番（安藤さん）：トランプ大統領の施政に関する共和、民主両党からの評価を紹介したもの。great と grate（うしろに on が付いて、「他人に不快感を与える」の意味）が巧く韻を踏んでいる点が魅力でした。

5 番（岡田さん）：おなじみ「Blonde Joke」の好例で、稲妻の閃光を、自分に向けたカメラのフラッシュと受けとめる「鈍感力（?）」をおちよくったもの。

6 番（山内さん）：一人のアイランド人がオーストラリアへ移民した結果、母国とホスト国の両方の IQ レベルが上がったとき。Irish の男性に対してはとかく「酒飲み、女グセが悪い、ブルーカラー」といったステレオタイプのイメージがつきまといますが、このジョークも同様の偏見からきているようです。

8 番（村井さん、当日欠席）：著名なオランダ人画家ゴッホ（英語表示は Vincent Willem van Gogh）の family name を成す van をクルマのヴァンに、また、Gogh を英語読み発音が「ゴー」である点から go になぞらえた傑作なジョーク。個人的な体験ですが、Gogh をゴッ

ホでなく、ゴーと発音するのが正しい点から、米国の禁酒時代に恐れられたマフィアの親玉アル・カポネを思い出しました。ずっと昔、米国人と雑談をしていた際、同僚がアル・カポネの話を出しました。ところが何度、「アル・カポネ」と言っても巧く伝わらない。あれこれと補足情報を与えた結果、「Oh! You mean Al Capone」と言って判ってくれました。カポネの英語発音は「カポーン」に近いことを初めて知った次第です。

9 番（小澤さん）：ダンナにもっと熱烈に自分に関心を払ってほしいと願う妻の希望を聞き届けた魔人ジニーの解決策は？ 何と、彼女をスマホに変身させることでした。時流にピッタリの傑作で、MC としてはもっと点が入ってもよいのではと感じました。

12 番（長谷川さん）：要領よく家を切り盛りする good housekeeper の奥さんも、一旦、離婚沙汰となれば、しっかりと財産分けに臨み、文字通り家を抑えてしまった（Keep the house）というお話。

14 番（今井さん）：どこにでもありそうな母娘の言い争い。部屋を掃除するように言われた娘は「自分の部屋は自分の好きなようにするから、口出ししないで！」と悪態。これを聞いた母親は「この家は私の家なんだから、お前の好き勝手にはさせないよ」と激怒。娘は即座に上げ足を捉えて「自分の家だというなら、ママが掃除するのがスジでしょう」と言い返す。この出品用に佐川さんが選んだ写真が秀逸で、臨場感がすばらしいと全員から賛辞が飛びました。

15 番（豊田さん）：図書館から借り出すのは通常、本であるのに、ある男性が本の代わりに司書さん（若くて魅力に溢れた女性らしい？）を借り出してしまい、2 ヶ月経っても返却しないので、警告を受けたというお話。この写真も話にピッタリで皆感心しました。



We, Jokers No.74, August 20, 2019